

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時07分25秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010400	のびのび子育てプラザ
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00279	のびのび子育てプラザ施設管理事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	21	地域における子育て支援／親と子が共に育つ地域での支援		
予算事業	10463	01	03	02 11 02 01 01 施設管理事業（のびのび子育てプラザ費）
所属長	宮 美智子		担当者（内線）笹川（IP748-2009）	
根拠法令等	児童福祉法、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例他			
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	民間のノウハウを活用し、市民サービスの一層の向上、より効果的な設置目的の達成及び効率的な管理を目指して、指定管理者制度を導入するため、吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館条例を一部改正する。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館のびのび子育てプラザの施設維持管理		
目標	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館のびのび子育てプラザの施設の適切な維持管理		
結果	来館者の安全確保及び事業の円滑な運営を通し、乳幼児の健全育成及び地域における子育て支援の基盤を形成する。		
事業概要	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館のびのび子育てプラザの施設維持管理業務（指定管理者施設管理）及び子育て中の市民や子育て支援に関わる市民が、孤立した子育てや育児不安・負担感の解消・軽減を図るため、貸室等により交流の場を提供する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(財) 大阪市青少年活動協会他
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	施設の維持管理業務（清掃、警備等）
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,406	11,781	12,095	11,933	12,182
人件費職員数(人)	0.60	0.59	0.60	0.60	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	4,661	4,832	4,832	4,767
総事業費(A+B)	17,308	16,442	16,927	16,765	16,949
特定財源(C)	19	10	14	15	18
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	19	10	14	15	18
市負担(D)	17,289	16,432	16,913	16,750	16,931
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,289	16,432	16,913	16,750	16,931
財源計(G+D)	17,308	16,442	16,927	16,765	16,949

所属	のびのび子育てプラザ
事務事業番号	00279

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間来館者数	人	目標値	54,000.00	54,000.00	54,000.00
			実績値	62,068.00	65,792.00	
			達成度(%)	114.90	121.80	
目標値の積算方法	1日あたり150人×年間開館日数359日	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.26	0.25	
			一般財源(千円)	0.26	0.25	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	サークル交流室等施設貸出回数(専用使用許可件数)	回	目標値	260.00	330.00	330.00
			実績値	151.00	161.00	
			達成度(%)	58.10	48.80	
目標値の積算方法	1週あたり5日×2回(午前・午後)×51週-180回(講座等15回×12月)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	108.89	104.13	
			一般財源(千円)	108.82	104.04	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
施設の適切な維持管理を行い、来館者の安全確保及び事業の円滑な運営を通し、乳幼児の健全育成及び地域における子育て支援の基盤を形成する。	達成状況 日々の点検や修繕により安全な施設の維持と提供ができており、市民の交流や必要な子育て支援ができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>のびのび子育てプラザの維持管理については、夢つながら未来館内の青少年活動サポートプラザ及び山田駅前図書館と連携し、指定管理者制度の導入など効率的な事業実施と施設の維持管理に努めており、従事人数も最小限に抑えることが出来ている。また、ホームページに広報紙を掲載して市民が情報を収集しやすしたり、要求に見合った事業の充実を図ったことにより年間来館者数も増加した。また、平成29年度はサークル活動への支援を積極的に進めたことで、サークル数と活動件数が増加したことは評価できる。今後も広報活動を進めるとともに効率的な施設運営に努めていきたい。</p>

事務事業分析シート

所属名	のびのび子育てプラザ	事業名	のびのび子育てプラザ施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	279				

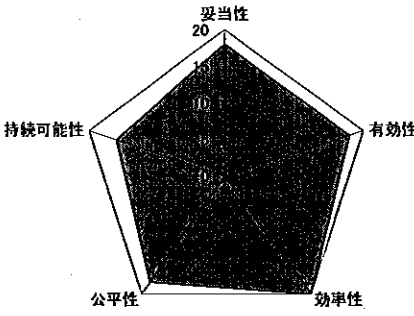
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的な比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	のびのび子育てプラザ	事務事業番号	279
-----	------------	--------	-----

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>のびのび子育てプラザは開館8年目を迎え子育て支援の拠点施設としての周知も進み、来館者も年々増加し目標値を大きく達成している。利用者は多いが重大な事故等の発生もなく安全に利用できており、このことは施設管理が適切に行われていることと、安心して遊ぶ環境が維持できていることの証であると考え。事務事業については、未来館全体で連携を図りながら業務の円滑化と効率化に努めている。今後も効率的な施設運営に努めていきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

所属	のびのび子育てプラザ
事務事業番号	00280

2頁
平成30年 7月17日
09時36分29秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年齢別親子教室（通年開催）開催回数	回	目標値	220.00	220.00	280.00
			実績値	183.00	233.00	
			達成度(%)	83.20	105.90	
目標値の積算方法	月24回×12月【あかちゃん（月10回）、あそび（月10回）、おとうさんとあそぼう（月4回）】－休館日相当分	単位当たりコスト	総事業費（千円）	217.62	172.55	
			一般財源（千円）	153.17	148.37	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年齢別親子教室（通年開催）参加人数	人	目標値	11,520.00	11,400.00	11,200.00
			実績値	7,423.00	8,151.00	
			達成度(%)	64.40	71.50	
目標値の積算方法	(月24回×12月－休館日相当分) × 親子20組(40人)	単位当たりコスト	総事業費（千円）	5.37	4.93	
			一般財源（千円）	3.78	4.24	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	赤ちゃん親子教室の生後6ヶ月までの参加率%		目標値	34.30	38.60	42.70
			実績値	40.90	40.30	
			達成度(%)	119.20	104.40	
目標値の積算方法	過去3年間の平均+5%	単位当たりコスト	総事業費（千円）	973.72	997.64	
			一般財源（千円）	685.35	857.82	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。（理由：資格を有する保育士や看護師を非常勤職員、臨時雇用員として配置し、経費の抑制を図っているため。）</p> <p>【指標数値の評価】 吹田版ネウボラ施策として産後2ヶ月から1歳未満の赤ちゃんを対象とした教室を開催するなどの工夫を行ったことで参加人数も増加した。参加者の約3分の1が保護者の育児負担の高い生後6か月までの乳児であるため、「赤ちゃん親子教室の生後6か月までの赤ちゃんの参加率」を新たな成果指標として追加する。</p> <p>【今後の方向性】 育児負担が高くなる生後2か月から6ヶ月までの乳児を持つ保護者への支援強化のため、より身近な場所での出張赤ちゃん親子教室の開催の充実を進める必要がある。事業の拡充に伴い、職員体制の確保が必要となる。</p>

事務事業分析シート

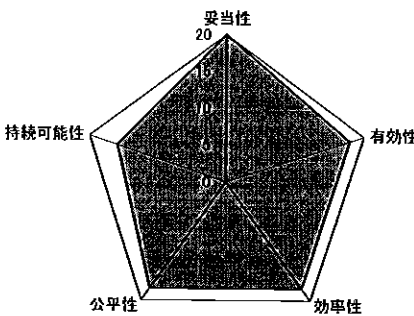
所属名	のびのび子育てプラザ	事業名	のびのび子育てプラザ事業	事業区分	その他
事務事業番号	280				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
o. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 のびのび子育てプラザは子育て支援の拠点施設として、地域子育て支援関係機関の連携の中心的役割を担っている。同時に、子育て中の保護者の学びと交流、活動の場としての役割も担っており、利用者アンケート等でニーズを把握しながら、必要な支援を行っている。 産後2ヶ月から育児への負担感が大きくなることから、2ヶ月児から対象の親子教室の開催や年齢別親子教室の開催時間や回数を増やすなどの充実を進めた。今後は父親への支援や転入者、多胎児、外国人親子等への支援も引き続き求められていること、のびのび子育てプラザに出向くことが難しい赤ちゃんへの支援として、出張での親子教室の開催等の検討が必要であり、事業の実施意義は今も増しており、職員体制の整備が急がれる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月17日
09時39分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010400	のびのび子育てプラザ
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00281	一時預かり事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	21	地域における子育て支援／親と子が共に育つ地域での支援		
予算事業	10465	01	03	02 11 04 01 01
所属長	宮 美智子		担当者（内線）笹川（748-2009）	
根拠法令等	児童福祉法、吹田市ののびのび子育てプラザ一時預かり事業実施要綱			
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	平成27年度	
改正内容	利用児童定員を6人／日から10人／日に拡充する（要綱改正。平成27年4月1日施行）。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	保護者の育児負担の軽減やリフレッシュ、傷病等のため、一時的に保育が必要となった就学前の児童		
目標	のびのび子育てプラザ内保育室「たんぼぼルーム」で必要な保育を行う。		
結果	児童への適切な保育を行うとともに、保護者の育児負担感の軽減や児童虐待の予防につながる。		
事業概要	保護者の育児負担の軽減、リフレッシュ等の理由により一時的に保育が必要な場合、また、保護者の傷病等により家庭での保育が一時的に困難になった児童をのびのび子育てプラザ内の保育室で一時的に預かり、必要な保育を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 協同臨床検査所
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	職員検便業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,533	12,099	12,571	12,240	12,554
人件費職員数(人)	0.90	0.90	0.90	0.90	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	7,353	7,110	7,247	7,041	4,767
総事業費(A+B)	19,886	19,209	19,818	19,281	17,321
特定財源(C)	8,371	8,614	8,345	9,011	8,890
国	1,786	1,786	1,786	1,870	1,870
府	1,786	1,786	1,786	1,870	1,870
その他	4,799	5,042	4,773	5,271	5,150
市負担(D)	11,515	10,595	11,473	10,270	8,431
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,515	10,595	11,473	10,270	8,431
財源計(C+D)	19,886	19,209	19,818	19,281	17,321

所属	のびのび子育てプラザ
事務事業番号	00281

2頁
平成30年 7月17日
09時39分15秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一時預かり事業延べ利用児童数	人	目標値	2,856.00	2,856.00	2,652.00
			実績値	2,608.00	2,574.00	
			達成度(%)	91.30	90.10	
目標値の積算方法	利用児童数1日利用7人×月20日×12月 半日利用6人×月20日×12月 ×充足率85%	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.37	7.49	
			一般財源(千円)	4.06	3.99	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一時預かり事業保育定員充足率	%	目標値	85.00	85.00	85.00
			実績値	86.00	88.00	
			達成度(%)	101.20	103.50	
目標値の積算方法	定員10人に対し、1日8.5人の利用	単位当たりコスト	総事業費(千円)	223.36	219.10	
			一般財源(千円)	123.20	116.70	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 事業費は適切である。(事業の運営には臨時雇用員を配置して経費削減に努めているため)</p> <p>【指標数値の評価】 定員充足率の高さから見ても、本事業に対する市民ニーズは極めて強い。「育児負担の軽減」や「リフレッシュ」での利用が多く、本事業が児童虐待の予防としても重要な役割を果たしていることから、より多くの人が利用出来るように予約受付時間の延長等予約方法の見直しをすすめた。</p> <p>【今後の方向性】 今後もニーズが多様化する中、本事業の重要性は一層高まるものと予想されるので利用者が安心して利用できるように十分留意して進めていく。</p>

事務事業分析シート

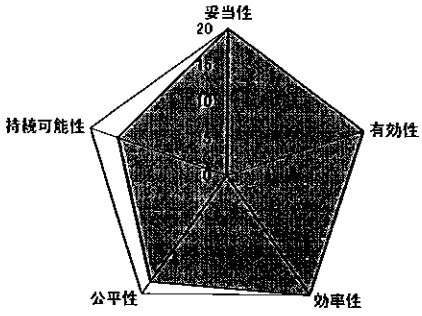
所属名	のびのび子育てプラザ	事業名	一時預かり事業	事業区分	その他
事務事業番号	281				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 「育児負担の軽減」や「リフレッシュ」での利用が全体の8割を超えていることから児童虐待の予防等子育て支援施策の中でも効果の高い、優先順位の高い重要な事業である。</p> <p>(3)効率性 一時預かり事業への市民ニーズは高く、定員10名に対して予約率はほぼ100%になっている。しかし病気等でのキャンセルもあるので、より多くの人を利用できるように予約可能時間を延長して対応している。さらに、新規の人が利用しやすいように予約方法の変更を行うなど工夫を進めたことで、充足率や新規利用者率が上がった。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月17日
09時41分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010400	のびのび子育てプラザ
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00282	ファミリー・サポート・センター事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	21	地域における子育て支援／親と子が共に育つ地域での支援		
予算事業	10466	01	03	02 11 05 01 01
所属長	宮 美智子 担当者（内線） 笹川（748-2009）			
根拠法令等	ファミリー・サポート・センター事業実施要領			
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成23年度	
改正内容	吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館の開館に伴い、ファミリー・サポート・センター事務局を、本庁舎内子育て支援課からのびのび子育てプラザ内に移転し、事業運営を行う。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	地域において子育ての援助ができる20歳以上の市民と、3か月から小学校6年生までの子どもを子育て中で、子育ての援助を受けたい市民		
目標	上記の市民をファミリー・サポート・センターの会員として組織し、会員間で子育てに関する相互援助活動を行う。		
結果	子育ての相互援助活動を通じ、「地域での子育て支援の基盤形成」、「仕事と家庭の両立支援」、「男女共同参画社会の形成」及び「児童の健全育成」を図ることができる。		
事業概要	地域において子育ての援助ができる市民と援助を受けたい市民をファミリー・サポート・センターの会員として組織し、子育ての相互援助活動を行う。センターは市民が会員になるための講習会や保育の質の向上に資する研修会（救命講習等）を実施する。また、援助を受けたい依頼会員からの依頼を受け、適切な援助会員の紹介を行うなど会員間のマッチングを行う。援助を受けた依頼会員は規定の報酬を援助会員に支払い、援助会員は活動報告書をセンターに提出する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,265	7,090	7,503	6,796	7,137
人件費職員数(人)	0.90	0.90	0.90	0.90	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	7,353	7,110	7,247	7,041	4,767
総事業費(A+B)	14,618	14,200	14,750	13,837	11,904
特定財源(C)	4,852	5,176	5,409	5,060	5,046
国	2,413	2,613	2,694	2,660	2,515
府	2,413	2,550	2,694	2,396	2,515
その他	26	13	21	4	16
市負担(D)	9,766	9,024	9,341	8,777	6,858
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,766	9,024	9,341	8,777	6,858
財源計(C+D)	14,618	14,200	14,750	13,837	11,904

所属	のびのび子育てプラザ
事務事業番号	00282

2頁
平成30年 7月17日
09時41分07秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	入会講習会参加者数	人	目標値	455.00	420.00	420.00
			実績値	405.00	426.00	
			達成度(%)	89.00	101.40	
目標値の積算方法	年間講習会開催数12回×35人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	35.06	32.48	
			一般財源(千円)	22.28	20.60	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	相互援助活動件数	件	目標値	6,420.00	5,038.00	3,578.00
			実績値	4,864.00	4,269.00	
			達成度(%)	75.80	84.70	
目標値の積算方法	年度末会員数 1,789人(依頼会員・両方会員の合計)×2件	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.92	3.24	
			一般財源(千円)	1.86	2.06	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(担当アドバイザーを臨時雇用員(保育士等)で配置するとともに、市民の相互援助活動であり、低コストで事業運営を行っているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 会員が安心して活動できるように研修の充実や、入会講習会の開催数、場所を拡げたことで講習会への参加者は増加した。援助をする会員の減少もあって活動件数が減少傾向にあるが、利用したいという依頼に対してはほぼ援助活動ができています。</p> <p>【今後の方向性】 援助会員確保のため広報活動や他団体との連携等の強化を図っていきたい。互援助活動中の安全性の確保や事業内容の質を向上させていくためには、引き続き、行政としての一定の関与が必要と考える。</p>

事務事業分析シート

所属名	のびのび子育てプラザ	事業名	ファミリー・サポート・センター事業	事業区分	その他
事務事業番号	282				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(6点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ファミリー・サポート・センター事業は、地域において育児の援助が出来る市民と援助を受けたい市民を会員として組織し、子育ての相互援助を行うもので、市民の力を活用しながら運営ができ、継続的かつ効率的な運営が可能な事業である。安心安全に援助活動ができるために、研修制度の充実を図る中で重大な事故やケガ等も発生していない。</p> <p>(1)妥当性 より効率的に運営できるように会員の更新手続きを行っているが、一方で会員が減少傾向にあるため、会員募集の強化を図る必要がある。 今後、受け皿の育成が進めば民間委託も研究課題の一つであるとする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 7月17日
09時50分34秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0006010400	のびのび子育てプラザ
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01561	子育て支援コンシェルジュ事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	01	すべての子どもが健やかに育つまちづくり		
細節	21	地域における子育て支援／親と子が共に育つ地域での支援		
予算事業	11695	01	03	02 11 99 99 99
利用者支援事業（のびのび子育てプラザ費）	担当者（内線）笹川（IP748-2009）			
所属長	宮 美智子			
根拠法令等	子育て支援コンシェルジュ事業実施要領			
事業開始年度	平成28年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	教育・保育施設（認定こども園・幼稚園・保育所）や、地域型保育事業、地域子ども・子育て支援事業、その他の地域の子育て支援事業等を利用しようとしている小学校就学前の子どもを子育てしている家庭		
目標	子育て家庭にとって身近な場所で相談に応じ、その個別のニーズを把握して、適切な施設や事業等を円滑に利用できるようなる等、必要な支援を行う。		
結果	必要な支援を行うことで育児負担の軽減や児童虐待の予防につなげるとともに、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会を実現する		
事業概要	子育て家庭の相談に応じ、その個別のニーズを把握して適切な施設や事業等を円滑に利用できるよう支援したり、必要な子育て関係機関等とのネットワークを構築し、子育て支援の充実を進める。（平成29年度に子育て支援コンシェルジュ事業に名称変更）		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	584	303	7,484	6,104	1,852
人件費職員数(人)	2.50	2.50	2.50	2.50	2.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	20,425	19,750	20,130	19,558	16,685
総事業費(A+B)	21,009	20,053	27,614	25,662	18,537
特定財源(C)	4,838	7,934	5,144	5,190	5,188
国	2,419	4,077	2,572	2,595	2,594
府	2,419	3,857	2,572	2,595	2,594
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	16,171	12,119	22,470	20,472	13,349
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,171	12,119	22,470	20,472	13,349
財源計(C+D)	21,009	20,053	27,614	25,662	18,537

所属	のびのび子育てプラザ
事務事業番号	01561

2頁
平成30年 7月17日
09時50分34秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	子育て相談件数	件	目標値	1,200.00	1,200.00	1,200.00
			実績値	1,125.00	1,440.00	
			達成度(%)	93.80	120.00	
目標値の積算方法	1か月の相談件数100件×12月	単位当たりコスト	総事業費(千円)	17.82	17.82	
			一般財源(千円)	10.77	14.22	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	出張相談回数	回	目標値	60.00	60.00	64.00
			実績値	16.00	37.00	
			達成度(%)	26.70	61.70	
目標値の積算方法	6区域(教育・保育提供区域)×3+高野台のびのびルームへの出務(51週×1-5)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,253.31	693.57	
			一般財源(千円)	757.44	553.30	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 身近な場所で相談に応じ、個別のニーズを把握して、適切な施設や事業等の円滑利用を進める。また、状況に応じて必要な子育て支援関係機関との連携を進める。	達成状況 子育て支援相談員の寄り添い型の相談対応で、対象者も適切な情報収集ができる等、一定の満足を得られている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:高野台のびのびルーム出張時の相談員の代替を必要最小限度の時間数の臨時雇用員で行う等、経費節減に努めているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 事業開始2年目でリーフレットの配布や機関連携で事業の紹介等を進めたことで市民周知が広がり、前年度を上回る相談件数となった一方、出張相談回数は目標値を下回っており、改善を図る必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 相談支援により児童虐待の予防につなげるとともに、多様な市民のニーズや相談に的確に応じられるように、吹田版ネウボラ事業として保健センター等と連携し、ネウボラ連携会議の開催で関係機関との連携の強化を図っていく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	のびのび子育てプラザ	事業名	子育て支援コンシェルジュ事業	事業区分	その他
事務事業番号	1861				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	6点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 事業開始から積極的にリーフレットの配布や関係機関との連携で事業の紹介を進めるなどする中で市民への周知がすすんだこと、保健センター等との連携で出張での相談会も開催したことで相談件数は前年度を上回るものとなった。また、平成29年12月開設の高野台のびのびルームでの出張相談会も定着しつつある。 今後も、より市民に近い場所で相談が受けられるように出張相談会の充実を図るとともに、吹田版ネウボラ事業として保健センターや関係機関との連携強化を、ネウボラ連携会議を開催し進めていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)